

平成 23 年度 桑名市広域避難訓練について

1. 訓練目的

近い将来発生が危惧されている東海・東南海・南海地震において、東日本大震災からの教訓をもとに、市民の生命を守ることが重要となっております。

このようなことから、地震発生時の住民や行政・防災関係機関における初動時の行動や遠隔にある避難所へ移動、また、避難所での受け入れなどの訓練を行い、災害発生による緊急時のあり方について検証し、今後の防災体制の整備に役立てることを目的に訓練を行うものです。

2. 訓練想定

訓練想定としては、「平成 24 年 2 月 25 日(土) 午前 9 時 00 分頃、静岡県南方沖を震源とするマグニチュード 8.7 の地震が発生。気象庁は午前 9 時 03 分到大津波警報を発表。」を基に訓練を実施するものです。

3. 参加機関及び参加者数 (767 名) 約 770 名

桑名市 (87 名) …部長 17 名、動員職員約 50 名、課長・係長約 20 名

桑名市消防本部(10 名)

桑名市消防団 (140 名)

三重県 (危機管理部) (5 名)

三重県桑名県民センター (2 名)

桑名警察(10 名)

海上保安庁(10 名)

自衛隊 (7~8 名)

漁業組合 (城南・伊曾島) (10 名)

自治会(437 名+ α) 約 500 名

①長島地区(300 名)

(北部)^{R1}: 60 名、(中部)^{R1}: 170 名、(伊曾島)^{R23}: 70 名

②城南地区(137 名+ α)^{R23、R258}

和泉・小泉・小貝須・太平の各自主防災組織 約 40 名

城南地区自治会 41 の自治会長・副会長 約 82 名

和泉連合・南福江・福岡 約 15 名

③星見ヶ丘地区(豊ヶ丘地区)

自治会・関係団体 (50 名)

星見ヶ丘小学校

4. 訓練参加職員について

今回の広域避難訓練の参加職員は、別紙参照。

5. 災害対策本部の運営について

訓練には部長の参加をお願いします。

なお、訓練参加担当部局の該当の無い課長については、自由見学としますので、よろしくをお願いします。

6. 参加機関の訓練の役割及び概要

桑名市（87名）・・・部長17名、動員50名、課長・係長20名

- ①避難所での受付（名簿作成等）
- ②避難住民のバス・船の搭乗誘導及び受け入れ避難所での受付対応
- ③消防団との連携対応
- ④災害対策本部運営（関係機関との連絡調整等）

・訓練指示及び情報集約は、災害対策本部が行う。

※災害対策本部とのやり取りは、桑名市防災行政無線にて行う。

桑名市消防本部(10名)

- ①消防団の窓口対応
- ②大型車両の輸送対応

桑名市消防団（140名）

- ①避難広報及び危険箇所の確認
- ②避難住民の安否確認（避難所での受付対応）
- ③避難住民の避難所への誘導
- ④水門の開閉確認
- ⑤避難バスの後部誘導

三重県（危機管理部）（3名）

- ①「現地避難所」及び「現地災害対策本部」の運営における助言指導

三重県桑名県民センター（2名）

- ①県災害対策本部窓口

桑名警察(10名)

- ①各避難所から避難バスをパトカーにて先導

海上保安庁(10名)

- ①漁業組合の漁船の誘導及び安全確保

自衛隊 (7~8名)

①炊き出し訓練補助

漁業組合 (城南・伊曾島) (10名)

①伊曾島地区の逃げ遅れ住民の避難対応

自治会(437名+ α)

①訓練対象地域住民の避難及び避難住民の受け入れ対応